

心がかよう豊かな地域づくりと 市民のための市政をめざして

舞鶴市議会議員



今西かつみ 通信

第 7 号

令和3年5月発行

今西かつみ後援会事務局

〒624-0102
舞鶴市字志高1217番地
TEL・FAX:0773-83-0760
ホームページ・フェイスブック:
<http://www.imanishi-katsumi.net>
E-mail:
asuka645-1123@nike.eonet.ne.jp

ご挨拶

皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。新型コロナウイルス感染症が世界的な猛威を振るい、未だ収束が見通せない状況の中ではありますが、今西かつみ並びに今西かつみ後援会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

そのような中、皆様方より絶大なるご支援をいただき、議員活動7年目を歩ませていただいております。初心を忘れず、現地現場主義を貫き、地域の皆様と共に課題の解決に向けて、皆様に豊かさを感じていただける社会になりますよう、より一層精進し、頑張っております。

どうか引き続き、変わらぬご指導と、ご教示を賜りますようお願い申し上げます。 **今西かつみ**

舞鶴市議会2期7年目における所属・担当のご紹介

- ① 役職 副議長
- ② 会派 新政クラブ議員団
- ③ 常任委員会 福祉健康委員会・予算決算委員会 委員
- ④ 特別委員会 議会活性化特別委員会 副委員長
- ⑤ 広報会議 委員長
- ⑥ 議会報編集部会・FM放送部会 部会長
- ⑦ 山陰新幹線京都北部ルート誘致促進舞鶴市議会議員連盟



西舞鶴道路・臨港道路上安久線 計画VRイメージ図

令和3年4月 臨時議会開催 補正予算の概要(抜粋)

新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算3億6,220万円を可決

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 5千230万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の支出の増加などの影響を受けやすい低所得の子育て世帯の児童1人につき5万円の給付金を給付し、生活を支援する。(ひとり親世帯分)

感染症対策放課後児童クラブ整備事業費 1千230万円

新型コロナウイルス感染症対策のため、市内3カ所の放課後児童クラブの換気機能を備えた空調設備への改修整備を図る。

西舞鶴駅周辺機能強化事業費 5千100万円

感染症により大きな影響を受けた地域公共交通、地域経済の活性化のため、本市の交通・観光拠点として機能を強化し、駅を中心とした新たな生活様式に対応したまちづくりを進め、駅前広場を含めた駅周辺の一体的な整備を行う。

交通系ICカードを活用した経済・社会・環境の好循環創出事業費 1千899万円

ポストコロナ社会の構築に向け、「ITを活用した心を通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現を図るため交通系ICカードを活用し、新しい生活様式に対応した「非接触」「キャッシュレス化」の推進により公共交通の利用促進を図る。

学びの保障と家庭連絡体制強化事業費 1千130万円

新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休校時等においても、家庭における子ども達の学びを保障するとともに現行の学校ホームページシステムを見直し、教員の操作性向上、及び、コンテンツを拡充できる機能強化を図る。



令和3年度当初予算 **ビヨンド・コロナ社会の構築を見据えた持続可能な予算編成**

感染症対策を最重点に、「ITを活用した心が通う便利な田舎暮らし」の実現！

舞鶴版 Society5.0 for SDGs の積極果敢な取組み

豊かな自然、歴史、文化、特色ある教育、充実した子育て環境などの地域資源を最大限に生かし、心の豊かさが享受できるまちづくりを推し進めるとともに、人口減少や少子高齢化、また局地化・複雑化する危機事象への対応など社会課題に柔軟に対応し、将来を見据え、効率的で利便性の高い安心安全な都市基盤づくりや福祉の充実を図る。そのうえで、ビヨンドコロナ社会を見据えた社会の変化に対応する新たな事業を展開して行く戦略的な予算編成としている。

- ① 心豊かに暮らせるまちづくり
- ② 安心のまちづくり
- ③ 活力あるまちづくり



本会議場での質問

令和3年度 舞鶴市当初予算額(抜粋)

	令和2年度との予算額比
○ 一般会計予算 358億4,726万円	伸び率 2.8%
特別会計予算 302億5,572万円	同 3.1%
総額 661億0,298万円	
○ 令和3年度予算の重点事項(抜粋)	
・舞鶴市SDGs未来都市推進事業 3,843万円	
・産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業 1,200万円	
・赤レンガワークショップ推進事業 1,800万円	
・東西市街地浸水対策事業 10億1,500万円	
・市内各河川浸水対策事業 7,650万円	
・次期最終処分場整備事業費 6億180万円	

令和2年度 舞鶴市補正予算の概要(抜粋)

○ 令和2年度補正予算総額 5億7,819万円
・新型コロナウイルス感染症対策指定管理施設統廃合応援奨励金 2,500万円
・北近畿タンゴ鉄道支援事業補助金 819万円
・新型コロナウイルス感染症対策路線バス運行支援奨励金 4,310万円
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 1億6,227万円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業費 2億2,670万円
・橋りょう長寿命化事業費 5,985万円
・学校施設新型コロナウイルス感染症防止対策費 2,480万円
・ふるさと応援推進事業費 590万円
・府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費 466万円

地元悲願 神崎海岸 高潮対策事業着工

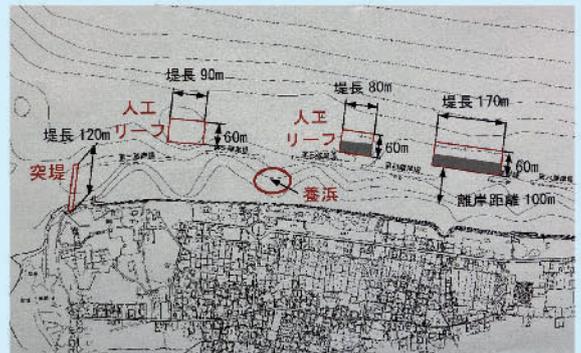
平成29年9月舞鶴市議会本会議場において市長に一般質問！

神崎海水浴場は、美山町を水源とする一級河川由良川の河口付近から東方向に約2キロメートルにも及ぶ京都北部でも有数の風光明媚な海水浴場であり、広い砂浜と松林を持つ白砂青松として有名な浜で、一帯は若狭湾国定公園に指定されています。

しかしながら、神崎海水浴場は平成16年の23号台風、平成25年の18号台風をはじめ、近年の相次ぐ台風、豪雨さらに、冬季の強い北風による波の影響を受け、砂浜の著しい浸食が進み、岸付近に設置されている遊歩道の基礎にまで影響を及ぼす状況となっていました。

私は、このことを踏まえ地元皆様の思いを伝えるべく平成29年9月、市議会本会議場において一般質問という形で窮状を訴えると共に、関係官署による抜本的な対策を講じていただくようお願いしてまいりました。

この度、舞鶴市の強い要請のもと、国・京都府においてご支援をいただき神崎海岸高潮対策事業として総工費約10億円を予算化していただき本年度より着工の運びとなりました。主な工事概要は、由良川河口部に120メートルの突堤工の新設、人工リーフ、及び、養浜工等を実施していただき、砂浜の浸食防止と越波災害の防止を図っていただくものです。一日も早い完成が待たれます。



神崎海岸全体計画(西神崎・東神崎地区)



地元説明会：令和3年2月(旧神崎小学校)

議会 代表質問で多々見市長に問う！

1. 舞鶴市の財政運営について

① 令和元年度の財政運営を問う

様々な事業に取組まれた結果、歳出総額は340億331万円、歳入は償却資産の減少等により固定資産税は減少したものの、市民税等を含む市税収入全体としては増加、繰越し事業の減少による繰越金、及び臨時財政対策債なども減少、国庫支出金の確保にも努めていただいた。市長は、令和元年度の財政運営をどのように総括しておられるのか伺う。

- ▲ 予算編成をより厳格、かつ効果的に機能させるため、歳入予測に基づいた歳出予算枠を各部に配分する枠配分方式による予算編成に取組み、各部の自主性と創意工夫を働かせた戦略的な予算編成に取組み、令和元年度決算では、経常的経費の更なる減少等に努めたことが経常収支比率等の改善につながった。

2. 市政運営について

① 舞鶴版 Society5.0 for SDGsの取組みを問う

昨年7月、国の「SDGs未来都市」、全国モデルとなり得る10自治体に与えられる「SDGsモデル事業」に選定され、以来、2030年における本市のあるべき姿を明確にする「舞鶴版 Society5.0 for SDGs」の取組みの現状を問う。

- ▲ 舞鶴版 Society5.0 for SDGsのさらなる推進が、感染症に打ち勝ち、乗り越える「ビヨンドコロナ社会」において「地方回帰」を実現する地方都市のモデルになるものと考えている。今般、将来のあるべき姿を見据えた持続的で自立的な再生可能エネルギー導入を実現するためのビジョン策定に、経済産業省のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業の採択を受けたところであり、今後、多様な連携を活かしながら取組む。

3. 多世代交流施設「まなびあむ」について

① 本拠点施設を活用した今後のまちづくりを問う

旧市民病院跡地活用については、多々見市長が就任され、新たな中丹地域医療再生計画を「選択と集中、分担と連携」のコンセプトのもとに推し進めてこられた。そのような中、国の地方創生拠点整備交付金の採択を受けられた大規模プロジェクトであり、財源の確保も大変なご苦労があったものと認識しているが、改めて本拠点施設等を活用した今後のまちづくりについて市長の考えを伺う。

- ▲ 平成25年度に、学識経験者、市内各種団体、公募市民で構成する「市民病院跡地のあり方懇話会」を設置し議論を重ねていただく中で文庫山学園の移転について、現在のニーズに合った機能移転を検討することなどが盛り込まれた提言書を平成26年3月に市に提出いただいた。平成27年3月の市議会本会議において跡地全体を市民の健康増進と多様な交流・にぎわいの拠点として整備することなど整備の方向性をお示しする中で、市民はもとより、市外の方も含め、子どもから高齢者まで、幅広い世代の交流・賑わいの拠点となるよう、また、ビヨンドコロナ社会におけるニューノーマル「新たな常態」に対応した施設となるよう整備するとともに、公民館機能も併せ兼ね備えた施設としての多世代交流施設を目指す。

4. 京都舞鶴港の振興と機能強化について

① 舞鶴西港の整備について伺う

第三ふ頭は、現在、主として海上保安庁、水産庁などの海事機関専用の岸壁として供用中である。国の安全を守る海上保安庁の警備救難業務は厳しさを増す周辺海域での領海警備等多岐に渡っている。西港第三、第四ふ頭は、共用、専用岸壁として機能強化を図ることが必要と考えるが市長の考えを伺う。

- ▲ 現在、舞鶴西港には、大型巡視船「ふそう」を含む3隻の巡視船が配備されている。周辺諸国による我が国領海への侵入や、深刻化する国際テロ情勢等は一層厳しさを増している。海上保安体制の更なる強化が必要とされており、巡視船配備の環境も踏まえ、西港港湾施設の機能強化を関係機関に働きかけていく。



代表質問

国土交通省福知山河川国道事務所長に要望書提出！

由良川下流部治水対策要望書を本田太郎衆議院議員、池田正義京都府議会議員と共に提出

下流部流域においては、国の直轄事業として進めていただいております緊急水防対策や、現在強力に推進いただいております緊急治水対策による「輪中堤」等の整備効果により被害の抑制が図られていますが、一方で、樋門を閉じることにより堤内に流れ込む中小河川からの内水が発生し、農地、住家に被害が出ています。このような中、昨年7月、加佐区長連合会長様ほか役員の皆様と、本田太郎衆議院議員、池田正義京都府議会議員を紹介議員として国土交通省福知山河川国道事務所長に対し地元の声強く届ける要望書を提出し改善をお願い致しました。

加佐地区共通要望事項（抜粋）

- 水防対策（輪中堤・宅地高上）後の内水対策、及び由良川の浸漦等について
- 主要地方道路冠水時の救急救命対策について

由良川下流部においては、近く完成する下東・三日市輪中堤を含め6ヶ所の輪中堤が整備されています。しかしながら、堤内中小河川からの内水による被害が発生している現状を踏まえ、排水ポンプの設置など内水対策の早期実現、また、二年前の豪雨時に主要道路が冠水し地域が孤立した際に岡田地区で要救助者が発生、自衛隊のヘリコプターに救助の要請、さらに同年には神崎地区においても同様の救急出動の要請があったことから由良川下流部にドクターヘリの発着場の確保、併せてエンジン付き救助ボートの常備常設等を要望したものです。



国土交通省矢野事務所長に要望書の提出

京都縦貫道 舞鶴・大江ICまでの府道嵩上げ改良工事完成！

岡田上地頭地区の府道533号、内宮地頭線

平成2年度京都縦貫自動車道綾部・宮津道路が事業化され、平成10年3月8日、綾部JCT間の完成に伴い舞鶴・大江ICが供用開始となりました。舞鶴市はもとより、京都北部の都市圏にとって、舞鶴大江ICは災害時のリダンダンシー機能も併せ持つICとして位置付けされていましたが、度重なる由良川の氾濫により付近の低地道路は冠水し通行不能の状態が発生していました。

地元住民皆様の強い要望もあり、平成25年度からの国道175号線改良工事に引き続き、平成28年度より府道内宮地頭線の嵩上げ拡幅改良工事を進めていただき、令和3年1月に道路本体の改良工事が完成したものです。現在は、桧川周辺の和丹橋ほか市道との取付け工事が行われており、近く全体工事が完成する予定となっております。



工事着工時の府道 (令和2年1月)



盛り土拡幅拡張工事中 (令和2年7月)



嵩上げ拡幅化完成 (令和3年1月)

加佐地区公民館長・区長が 舞鶴市長、中丹東土木事務所長に要望書を提出！



多々見舞鶴市長に提出



八田事務所長に提出

加佐35地区の代表として、公民館長、区長さんが、多々見舞鶴市長、八田中丹東土木事務所長さんに各地域の要望書を提出していただきました。

提出に際しましては、池田正義京都市議会議員さんに紹介議員として同席していただきました。

岡田上地区役員の皆様



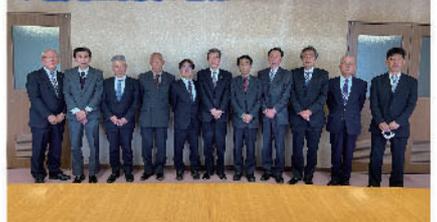
令和3年度岡田上地区公民館長、各地区区長様が多々見市長に年頭のご挨拶！

岡田中地区役員の皆様



令和3年度岡田中地区連合協議会長、各地区区長様、自治会長様が多々見市長に年頭のご挨拶！

八雲地区役員の皆様



令和3年度八雲地区公民館長様、各地区区長様が多々見市長に年頭のご挨拶！

神崎地区の皆様



昨年夏、多々見舞鶴市長、本田太郎衆議院議員と神崎地区を訪問した際、地域の方々から暖かく迎えていただきました。



後援会役員会

今西かつみ後援会執行部役員会に本田太郎衆議院議員をお招きし、国政報告をお世話になりました。



らっきょうの植え付け

燃えるような暑さの中、神崎地区あぜ道の会主催のらっきょうの植え付け作業におじゃまいたしました。

今西かつみ

主な活動のひとコマご紹介！

時事ひと言

昨年7月、市内で「刃物を持った若い男が歩いている！」との通報を受けた警察官が現場に出向きその場にて男と対峙、警察官は刃傷を負いながらもけん銃を使用し、身をていして凶悪犯を逮捕し、市民の安心・安全を守っていただきました。このことについて私は、9月定例会の代表質問で多々見市長にご意見を伺い、市長から警察官4名に感謝状を贈呈していただきました。

活動等のご報告等は、その都度、今西かつみ後援会のホームページとフェイスブックでより詳しくご紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

各地域を回らせていただいております。ご意見、ご要望等お問い合わせください。今西かつみ

